

池上百竹亭コレクション

— 平成二十八年度 第一期 —

民藝と茶

濱田庄司の茶碗を中心に

平成二十八年五月十日～九月二十五日

池上百竹亭コレクションは、松本市の文人・池上喜作が生涯にわたって蒐集した近代文芸資料を主とする二〇一点の総称です。

その中には喜作が中心になって進めた松本の民藝運動に因む作家の作品が含まれています。

今回は、民藝の代表的な作家の一人である濱田庄司の茶碗を中心に、また、生涯「茶」に深い関心を寄せた哲学者・柳宗悦の掛軸なども展示いたします。

四月二十一日～六月五日まで当館二階企画展示室にて「バーナード・リーチ展」を開催しますが、喜作とリーチの交友からコレクションに入った作品が一点出品されています。この英国人作家バーナード・リーチと、濱田、柳とは、大変深い絆で結ばれていました。あわせてご覧いただければと思います。



上：棟方志功 《無蓋》

下右：濱田庄司 《茶碗 塩釉白流》

下左：濱田庄司 《香合 角盒子》

